

1. 目的 本研究では韓国の伝統工芸「ボジャギ」の一つである「チョガツポ」の実用性、ステンドグラスのような美しさを活かしたタペストリーを制作し、持続可能な衣生活を提案する。



写真1.チョガツポ [1]

[1] <https://minne.com/items/4223601> (2017/7/22閲覧)

ボジャギとは
「物を包む、運ぶ、覆う」などの実用性のある布、
日本でいう風呂敷に似ている。

チョガツポとは、
ふとんや衣服を仕立てる際に出る
はぎれを縫い合わせて作られていたもの。
様々なはぎれを使用するため
布のステンドグラスと呼ばれる。

3.染色

○生地

リトアニアリネン(麻100%)を使用。
麻のようなセルロース系繊維は
天然染料では濃く染まりにくいので、
染める前に**濃染処理加工**を行った。

セルロース繊維にアミノ基を化学的に
反応させてタンパク質繊維の構造に近
づけさせ染色性を向上させること。

○使用した染料

- 西洋茜 (色素 アリザリン)
- 玉ねぎ (外皮) (色素 ケルセチン)
- きはだ (色素 ペルペリン)
- 反応染料 (リアック染料)

西洋茜、玉ねぎは加工
布を使い、染め重ねを
行った

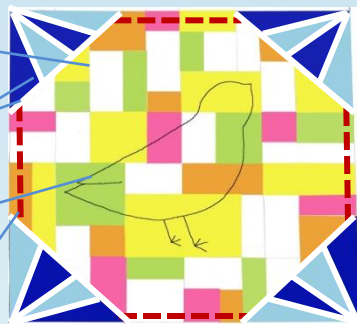
4.縫製技法

ぐし縫い

飾り縫い

つまみ縫い

三目上針



光に照らした結果
ステンドグラスのような
雰囲気が出ている



まとめ

- 制作に使用した縫製技法によって、メーテルリンクの伝えたかった青い鳥の主題が表現できたと考えられる
- 天然染料による染色は濃染処理加工と染め重ねを行うことで布を**濃く染めることができる**
- ボジャギは小さいはぎれ(2cmほどの大きさ)からでも繋ぎ合わせることができるため、不要となった衣類をはぎれにしてリメイクができることが可能である。
このことから**持続可能な衣生活を提案するにふさわしい工芸品**であることが分かった

2.デザイン

☆ボジャギ⇒「厄を払い、福を招く」縁起物

幸福をテーマにした
「青い鳥」

青い鳥を探す中で主人公たちが
「日常には**様々な幸せ**がある」
ことに気づいた場面を表現。

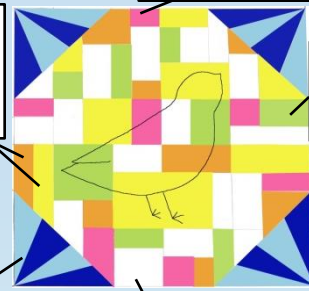
色に込めた意味

中紅花(なかくれない)色

○ 様々な愛の幸せ

きはだ色,
山吹色
○ 家族の
幸せ

萌黄色

○ 健康の
幸せ☆物語に出てくる
ダイヤモンドの帽子白○まだ見つけていない、
気付いていない幸せ